



様々な色の落ち葉が舞い落ち、秋も深まる頃となりました。
はらぐみの子どもたちはお友達と手をつないで園庭を
お散歩したり、体を動かしたりする遊びを楽しんでいます。
「〇〇くん/ちゃん遊ぼう」と自分から友達に声をかける姿も
増えてきています。



最近のお気に入り..ねすみの嫁入り

給食を待つ時間やお帰りの時間に紙芝居や絵本を見る時間を設けています。
「先生、今日はこれ読んで～」「わたしは〇〇の紙芝居がいい」など、お気に入りの
絵本や紙芝居がある子どもたち。話が始めると目をキラキラさせて、とても集中
して聞いています。お話が終わったあとに「〇〇はどうだったでしょう？」などクイ
ズをだすと、「〇〇だった！」と話の内容をよく覚えている子どもたちです。昔話
や物語などいろいろなお話に触れる機会をたくさん増やしていきたいと思いま
す。ご家庭でも絵本の時間が親子の触れ合いタイムになるといいですね。

こんなこと こんなこと できるかな？

運動不足や長時間のテレビ、YouTube などの動画の視聴が習慣になり、イス
に座れなかったり、転びやすかったり、一つのことに集中できなかったりするお子
さんが増えているようです。「体幹」を鍛えることで姿勢の安定やバランス感覚の
向上が期待できるそうです。

そこで、はらぐみでは鬼ごっこやケンケンパ、片足立ち競争など様々な遊びの
中で体幹を鍛えることに取り組んでいます。最初はうまくできずに「できな一い」
「やりたくな一い」とあきらめる子も多かったですが、何回か繰り返すうちに面白
くなってきた様子で自分から「やってみる！」と挑戦する子が増えてきました。

「せんせい、できたよ！」「みててね！」と誇らしげに教えてくれます。



ばらぐみ前期自己評価・反省

①生活

・身の回りのことを自分でする。

②人とのかわり

・自分の思いや気持ちを相手に言葉で伝える。

・ルールや約束を守って保育者や友達と遊ぶ。

③興味・関心

・自分のやりたい遊びを選んで楽しむ。

① 子どもたちに寄り添いながら仕方を知らせることによって、生活の見通しを持って行動する姿が増えてきました。また、言葉で伝わりにくいときは絵カードなどを利用し、視覚で分かるようサポートしていきます。

② 自分の思いや気持ちを相手に言葉で伝える

➡まだまだ言葉で表すのが難しい年齢でもあり、手が先に出てしまったり強い口調で言ったりとトラブルになることがありますが、その都度、保育士が仲立ちに入ったり、クラス全体で話し合ったりしながら根気よく関わって知らせています。

ルールや約束を守って保育者や友達と遊ぶ

➡ルールや約束事を前もって伝えることにより、見通しを持って行動できるようになりました。時には友達に教えたり声をかけたりする姿もあり、成長した姿がみられます。

③ 自分で「これで遊びたい」と選択できるよう、遊びの内容を毎日工夫することで子どもたちはいろいろな遊びに挑戦し、表現する力が身につけてきました。また、友達を誘って遊ぶ姿が多くみられるようになりました。これからも環境構成を考え、子供たちが全員楽しんで過ごせるようにしていきます。